



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2の7-22 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA 2-7 KANDA NISHIKI-CHO CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP 101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 444号

2011. 10. 31
毎月1回 20日発行

発行責任者
岸田 義典

目次

- 国際農業機械化研究会報告会より2
韓国 の 植物工場
農村振興庁農業工学研究部の植物工場を中心に
生研センター 園芸工学研究部 林茂彦氏
- 国別輸出入 (2011年1-8月)5
- 国際イベントニュース18

'2011

9・10

韓国の植物工場

農村振興庁農業工学研究部の植物工場を中心に

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 生物系特定産業技術研究支援センター 園芸工学研究部 林茂彦氏

国際農業機械化研究会では、平成 23 年 10 月 21 日 (金)、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター 園芸工学研究部林茂彦氏を講師に迎え、「韓国の植物工場 農村振興庁農業工学研究部の植物工場を中心に」と題した報告会を開催した。

林氏は、2011 年 5 月 25～28 日に韓国で開催された「国際研究者植物工場セミナー：韓国農業機械学会技術セミナー -韓日植物工場発展方向模索- /農村振興庁国立農業科学院工学部セミナー」に参加され、視察してきた韓国の植物工場・グリーンハウスの現状を映像を交えて報告くださった。

要旨は以下の通りである。

1. 日本と韓国の農業・施設園芸の現状

1) 日本と韓国の比較

日本		韓国
1 億 2,805 万人	人口	4,833 万人
377,914 km ²	面積	98,480 km ²
4 兆 3,562 億ドル (34,115 ドル / 人)	GDP	1 兆 3,423 億ドル (27,646 ドル / 人)
11.4 / 10.9 % (2009)	貿易依存度 (輸出 / 輸入)	43.4 / 38.8 % (2009)
459.3 万 ha (2010)	耕地面積	174.7 万 ha (2008)
260 万人 (2010)	農家人口	306 万人 (2010)
40 % (2009)	自給率	49 % (2008)
8 兆 491 億円 (2009)	農業生産額	2 兆 9,352 億円 (2008)
37.8 %	園芸作物生産割合 (野菜・果樹・花き)	28.0 %

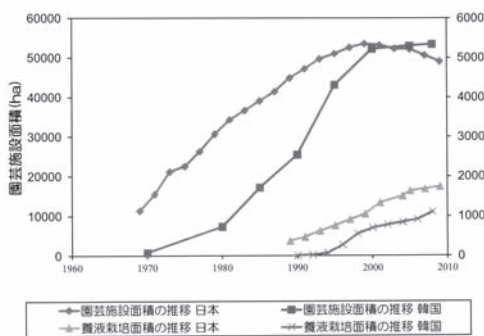
韓国の経済規模が日本の半分から 1/3 程度であることを踏まえると、韓国の貿易の依存度が特筆される。日本で議論されている TPP の参加に関しても韓国のほうが前向きに検討している。

2) 日本と韓国の園芸施設面積

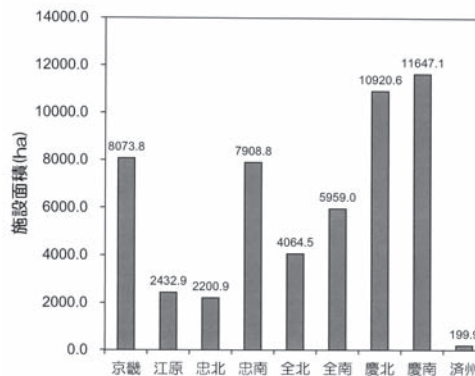
日本と韓国の園芸施設面積推移をみてみると、日本は 1990 年代後半に 5 万 ha を超えて漸減傾向に入ってきている。それに比べて、韓国は 1970 年代から 2000 年にかけて急激に伸びて 5 万 ha を超え、現在は日本より上回っている。耕地面積が日本約 460 万 ha、韓国約 170 万 ha である差を考えると、韓国は非常に施設園芸のウエイトが高い。

3) 地域別の施設面積 (2010)

韓国では、京畿や忠南等の都市近郊が 8,000ha 前後と大きい。また、農産物の輸出港である釜山が近



日本と韓国の園芸施設面積推移



地域別施設面積 (李基明, 2010)